

「紫川ダンボールボートレースに参加して」

北九州県土 河川砂防課 田中亜美

皆さん、こんにちは！今年度、福岡県に採用されました、北九州県土の田中亜美です。
本題に入る前に、少し私の自己紹介をさせてください。

- 自己紹介

私は、福岡県柳川市で生まれ地元でとれた海苔を食べて成長しました。今は実家を離れて北九州に一人暮らしをしています。（一人暮らしは寂しいですね、、、）趣味は走ることです！！高校では陸上部に所属していました。ちなみに短距離なのでマラソンは、、、（笑）

自己紹介はここまでにして、さっそく本文にはいりたいと思います！

- 紫川ダンボールボートレースとは？

ダンボールで製作したボートに2人1組で乗船し、決められたコースを廻ってゴールに着くまでを競います。一般の部と親子の部があり、それぞれ個性あるボートや衣装で参加します。今年は10回目の開催ということで例年になく盛り上がりでした！！

- ダンボールボートとの出会い

入庁3ヶ月が過ぎて、事務所にも慣れてきたころ、先輩から「ダンボールボート出る？」と言われ、私は「なんのこっちゃ？」と思いました。先輩からチラシを受け取り見てみると、衝撃を受けました！人が2人、ダンボールのボートに乗って漕いでいるではありませんか！！私は、すぐさま相棒（同じ事務所の野中さんという方（女性））を呼び、参加することを決めました。他にも出たいという方がいたので北九州県土からは2艇出場することになりました。

- 製作に入るも、、、

ダンボールボートレースがあと1か月と迫りやっとな製作に入りました。先輩から試走はしといた方がいいと念を押され、試走のための船を作ることになりました。ダンボールボートレース経験者の先輩方に手伝ってもらいながら船は1日で完成し、次の日には試走することが出来ました。金山川で試走しましたが、案外沈まずに試走することができました。私は「優勝いけんじゃない?!」と内心思いましたが！ここから、苦悩の連続でした。実際に本番で走るボートを作ろうとのことで、テーマをまず決めました。テーマは、、、「浦島太郎」です！！（これは野中さんが決めてくれました。）
テーマが決まったところで、ボートを製作しようとしたのですが、作り方が思い出せませ

ん。私はこの時、先輩に頼りすぎていたことに気づきました。結局誰かがやってくれるだろうという気持ちだったのです。それからは、先輩に何か聞きに行くときはメモをとるようにし、積極的に行動するように心がけました。先輩たちの助けを借りながら、野中さんとボートの形、装飾、どうやったら船が沈まずにスムーズに進めるかなどを検討しながら当日の朝まで補強を加えながら製作しました。

- 第10回全日本紫川ダンボールボートレース開催！！！！

大会当日、野中さんと私はドキドキしながら会場までダンボールボートを運びました。天気は快晴でダンボールボート日和でした。浦島太郎のコスプレをして参戦しました。大会は予選・決勝があり、各グループ予選で1位にならないと決勝戦には行けないということで、負けず嫌いな私達は俄然燃えて女性グループを1位突破をし、見事決勝戦へと進みました。決勝戦では、男性陣に混じってレースをしましたが、残念ながら優勝とはならず4位という結果でした。ですが、紫川をダンボールボートで出走するという貴重な体験ができ、満足でした！

- ダンボールボートレースを通して

私は達成感が一番ありました。自分で作ったものを自分で漕ぐという全部自分で行う、こういった経験はあまりないと思います。あの時先輩がチラシをくれなかったらこんな貴重な体験はなかったと思います。また、製作に携わってくださった先輩方、カンパを出していただいた事務所の皆様に感謝し、この経験を無駄にせず精進していきたいと思っています。

浦島太郎のコスプレが話題となり(?)新聞に掲載!また、インタビューも受けました!





てを漕ぎ出した用ボールのボートに乗り、ゴールを目指し激戦

趣向凝らしタイム競う

筑川ダンボールボートレース
46チーム92人が熱戦

筑川ダンボールボートレースが、小倉北の寒田であった。観衆もさながら、熱い競走が繰り出された。予選は、筑川ボートレースの選手たちが活躍した。筑川ボートレースの選手たちが活躍した。筑川ボートレースの選手たちが活躍した。

茶道具・古美術

ココで買います!

TEL: 0120-78-7558

筑川ボートレースの選手たちが活躍した。筑川ボートレースの選手たちが活躍した。筑川ボートレースの選手たちが活躍した。

筑川ボートレースの選手たちが活躍した。筑川ボートレースの選手たちが活躍した。筑川ボートレースの選手たちが活躍した。

※来年は出場するかわかりませんが、出場した際にはまた報告したいと思います！